



WSISフォーラム2022の結果概要

総務省 国際戦略局 国際戦略課

1. 概要

WSIS (World Summit on the Information Society: 世界情報社会サミット) フォーラムは、2003年及び2005年に策定したWSISアクションラインの進捗報告・情報交換等を行うことを目的として、アクションラインのファシリテーターであるITU (国際電気通信連合) がUNESCO (国連教育科学文化機関)、UNCTAD (国連貿易開発会議)、UNDP (国連開発計画) との共催により、2009年から毎年開催しているフォーラムである。このフォーラムには各国政府・国連機関のみならず、すべてのステークホルダーが参加可能となっている。

同フォーラムは、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染拡大の影響により、2020年及び2021年がバーチャル開催となっていたが、2022年はジュネーブにおいて物理会合とオンライン会合でのハイブリッド開催が実現した。2022年のWSISフォーラムのテーマは「ICTによる幸福、インクルージョン、レジリエンス: SDGsの進展を加速化させるためのWSIS協力」であった。

オンライン会合は2022年3月15日 (火) にスタートし、最終日である6月3日 (金) までの12週間の間に約250件ものワークショップが開催された。最終週である5月30日 (月) から6月3日 (金) は「ハイレベルトラック」と呼ばれ、オンラインと物理会合のハイブリッドにより、ハイレベル者によるワークショップや閣僚ラウンドテーブルが開催された。そのほか、アラブ諸国を中心とした主管庁やHuawei等のセクターメンバーが展示を行った。COVID-19の影響もあり、物理参加者数は従来よりも少なかったものの、物理会合には約50か国から約1,000名が参加し、オンライン参加者と合わせると、世界各国から延べ30,000人ものステークホルダーが参加した。特にオンライン・ワークショップの参加者は女性参加者の割合が46.5%と高く、ジェンダーの平等性を目指すITUの取組みが前進していることが伺えた。日本は佐々木総務審議官 (当時) を代表団長として、最終週の「ハイレベルトラック」を中心にオンラインまたは物理的に参加した。

2. ハイレベルトラックの報告

(1) 閣僚ラウンドテーブル

40か国の閣僚級出席者及びパレスチナから約50名が出席し、ナイジェリアのIsa Ali Ibrahim通信・デジタル経済大臣を議長として閣僚級ラウンドテーブルが開催された。このラウンドテーブルは、各政府からの閣僚レベルのみがクローズドで参加したもので、2022年のWSISフォーラムのテーマに沿って、約40か国の通信関連省庁の大臣・副大臣級が自国の取組みを紹介し、意見交換を行った。ラウンドテーブルの結果、WSISアクションプランがSDGsの実現のために不可欠であることや、ICTが急速に発展する世界情勢において発展途上国が取り残されないようにするためのWSISの取組みの必要性が共有認識として形成された。日本からは佐々木総務審議官 (当時) が出席し、いまだコネクティビティを確保できていない世界中の人々に対して、我が国がITUと協力して2020年10月からデジタルインフラを強化するConnect2Recoverプロジェクトを実施していることや、途上国向けにデジタル技術の早期展開に資するためのハイレベル政府関係者向けの研修講座を実施していることを紹介した。

(2) ハイレベル政策セッション

ハイレベルトラック期間中には、ハイレベル者が参加するワークショップや政策対話が開催された。そのうちの一つである政策対話には、総務省から菅田国際交渉専門官が登場し、5Gサービスの拡大のための日本の取組みや、SDGsを達成するために日本が実施している取組みを紹介した。本セッションでは、SDGsの目標達成を加速化させるためのWSISが果たすべき役割が再認識された。

また、デジタル・デバイド解消に関するセッションには尾上誠蔵氏 (NTT 最高標準化戦略責任者) が、遠隔地をつなぐためのネットワーク改革に関するセッションには岡村治男氏 ((株) グローバルプラン 代表取締役) が登壇した。

そのほか、これらのセッションと並行してアカデミアがITU活動に携わりやすくなるためのインストラクション・セッションや若者を対象としたワークショップが開催され、従来のITU会合の参加者だけでなく、様々なステークホルダー



のITU活動を促すための取組みが行われた。

3. その他

日本は毎年のWSISフォーラムにスポンサーシップを提供しており、2022年も同様の活動を行い、フォーラム期間中に日本主催のコーヒープレイクを開催した。この日本の活動に対し、スイス主催のレセプションにおいてジャオITU事務総局長から感謝状が授与された。

2023年のWSISフォーラムは3月13日（月）から17日（金）の1週間にわたりジュネーブ（ITU本部）において開催される予定である。

（参考）下記URLから会合結果文書をダウンロード可能

<https://www.itu.int/net4/wsis/forum/2022/Home/Outcomes>



■ 閣僚ラウンドテーブルで発表する佐々木総務審議官（当時）

国際航海を行う船舶局に必須の書類 好評発売中！



船舶局局名録
2022年版
-New!-



海上移動業務及び
海上移動衛星業務で使用する便覧
2020年版



海岸局局名録
2021年版

お問い合わせ: hanbaitosho@ituaj.jp

